

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岐阜県大野郡白川村	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	白川村文化遺産活用観光マネジメント事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>白川村では世界遺産集落の永続的な保存管理を目的とした「白川村世界遺産マスタープラン」（平成22年12月）を策定した。このマスタープランでは「1. 世界遺産の価値を高める」「2. 世界遺産の価値を伝える」「3. 世界遺産で人を育てる」の3つの柱をたてて、遺産地区の抱える課題の解決を目指す。</p> <p>後継者育成事業を行うことで、世界遺産で人を育て、世界遺産の価値を伝えることができ、結果的に世界遺産の価値を高めることが期待できる。白川村では少子高齢化が進み、人口が減少していく状況の中で伝統芸能後継者の確保が難しくなっているのが現状である。その中で保存会会員は勿論地域全体の伝統芸能に対する保存継承意識の活性化につながることに期待でき、活用（披露）することで保存・継承を図る。伝統芸能を後世に伝える意味で後継者育成事業は大切な役割を担ってくる。</p>			
6 実施体制			
<p>補助事業実施団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施団体：白川村文化遺産活用観光マネジメント事業実行委員会（会長：成原 茂） ・構成団体：白川村、文化財保護審議会、白川村商工会、白川郷観光協会、白川郷荻町集落の自然環境を守る会 <p>本事業に係る全体の調整、各補助事業に係る指導等は下記担当課が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白川村教育委員会事務局 文化財係 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 59,474 千円	平成31年度申請額： 1,348 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>白川村の伝統芸能は地区毎に民謡であればお囃子や節回し、踊り方に、獅子舞であれば曲や舞方に違い（特色）があるため、地域毎での伝統芸能継承に重点を置かなければならなかった。本事業では地域毎に継承事業を行うことが可能であり、地域伝統芸能で最も大切な「地域毎の伝統芸能の独自性」を維持することができる。また地域毎の祭礼や各種イベント等で披露することで、地域全体の伝統芸能の保存・継承に対する意識を向上させることができる。</p> <p>白川村では現在少子高齢化に伴い人口減少が進んでおり、今後も悪化していくことが予想される。平成23年から平成30年の人口を見ると1,769人から1,628人と7.9%減少している。そんな中本事業を行うことで、「世界遺産の担い手」である地域住民の保存・継承に対する意識を育むことができ、伝統芸能だけではなく白川村の継承者を養成することができると考えている。</p> <p>白川郷学園では毎年開催される運動会にて、地域住民を巻き込んだ伝統芸能披露を行っている。岐阜県無形文化財である「こだいじん」は1曲で各地域の踊りを踊ることができるため、指導は各地域の保存会員によって行われている。こういった指導ができるのも後継者養成事業によって子供達に教えられる人材を養成してきたからであると考えている。またこういった活動を続けることで、伝統芸能や地域の人に対して憧れを持ち、白川村に帰ってきたいと思う子供を育てることができるだろう。こういった意味でも伝統芸能継承者の養成事業は保存会員の確保だけではなく、様々な活動につなげることができる大切な役割を担っていると言える。</p> <p>伝統芸能継承者の確保だけではなく、上記のような効果を想定することができる。</p>			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	白川村役場 教育委員会事務局 文化財係

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	保存会への聞き取り調査			関連事業:		
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 231 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 231 人					
設定根拠 1 :	伝統芸能を披露するために会員数を維持する。					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
231 人	233 人	233 人	人	人	人	
100%	101%	101%				

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	白川村文化遺産活用観光マネジメント事業			実施団体：	白川村文化遺産活用観光マネジメント事業実行委員会		
事業区分：	後継者養成			事業期間：	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度		
事業概要：	伝統芸能継承者の養成事業 ・村内 1 2 団体（民謡保存会 5 団体、獅子舞保存会 7 団体）を対象とした、伝統芸能の養成事業を実施する。						
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	平成 2 8 年度の会員数 2 3 1 人を維持する。						
目標値：	【現状値】 平成 2 8 年度 231 人 ⇒ 【目標値】 平成 3 2 年度 233 人						
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率						
平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度	平成 3 2 年度	平成 3 3 年度		
231 人	233 人	233 人	人	人	人		
100%	101%	101%					